



自慢の山の前で、
元気一杯の佑夢くん。

左から、
キヌ子さん、
ハルエさん、
キワさん。



辺

りが暗くなる頃、各町内自慢の山（絵灯ろう）が、扇田小学校グラウンドに集まってきました。いろんな形の山に、子供たちに人気のキャラクターが描かれています。

福男さんの指導で掛け声の練習をしてから、さあ、出発！ 沿道には皆さんが出てきて、子供たちへ声援を送っています。一生懸命に子供たちへ声を掛けていた仲良し3人組が、明石ハルエさん、金谷キヌ子さん、長岐キワさん（皆さん上川端）。「嫁いだから

は、毎年楽しみにしています。何年か中止になったけど、復活してくれて嬉しいですよ」とハルエさん。「小さい頃は、私も山を引いたものです。今日は孫も出てるから、楽しみにしてました」とキヌ子さん。「扇田の夏の風物詩ですから、これが無いと夏じゃない気がします」とキワさん。恥ずかしがる皆さんをやっと説得して登場していただきました。ご協力に感謝！

八

幡町からは元気一杯の半澤佑夢くん（八幡町）にお話を聞きました。今は6年生で、1年生のときからずっと参加しているのだとか。「今年で（参加するのは最後になるから、精一杯がんばりました。来年から参加できなくなるのは、ちょっと寂しいかも」。中学生になると、山コチンチコには参加しないのだとか。

歩いて会って何でも話す
ワクワクの突撃取材

あつてグッド

市民の皆さんが
たくさん登場

これまでの
登壇者数 442人

82,915人
(H19.8.1現在)

「あつてグッド」は、
歩いて行くの方言「あつてえぐ」と会って良かった（グッド）を掛け合わせ、もじったものです。

デ

イズニーのキャラクターの絵灯ろうは、市川下町内。これは誰が描いたのと尋ねますと、元

気に2人の手が上がりました。仙台祐里香さんと成田理沙さん（お二人とも市川下）。すいぶん

と上手に描けてますけど？「二日間て絵を描きました」。今年のテーマはデイズニーだったそう

で、祐里香さんはデイズニーシーの帽子、理沙さんはキャラクターをイメージした髪飾り。どうやって描いたの？と尋ねると「写して描いて、色

を塗ったの」と祐里香さん。それにしても上手にできてますね。「途中で色（ポスターカラー？）を使い切っちゃったから、調べておなじ色を出すのが大変でした」と理沙さん。苦勞のかいがあつて、とってもかわいらしいキャラクターでしたヨ。

こうして短い夏も、あつて言う間に通りました。みんなと一緒に作った絵灯ろうでの山コチンチコは、想い出としてずっと心の中に残ります。子供や孫たちのために、そして自分のために、こうしたお祭りは大事にしたいものです。

では、次回は、9月15日に郷土博物館で行われる「こども科学教室」であつてグッド！

「こども科学教室」であつてグッド！



左から、帽子が似合う祐里香さんと、
すてきな髪飾りの理沙さん。